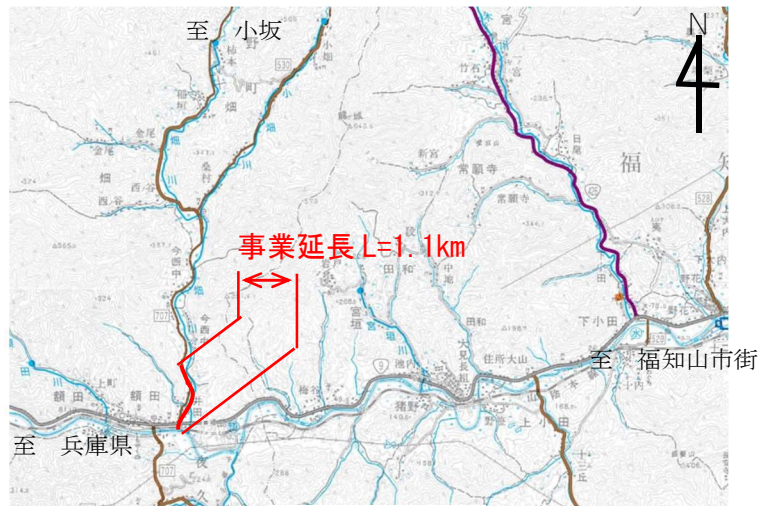


道路事業再評価調書

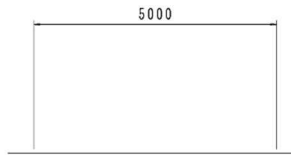
路線・河川等名	一般府道 <small>こさかあおがき</small> 小坂青垣線	事業名	防災・安全 交付金	補助・単独の別	補助
事業主体	京都府	事業箇所(区間)	福知山市 <small>やくの ちょういまにしなか いだ</small> 夜久野町今西中～井田		
事業概要	路線・河川等概要	小坂青垣線は、兵庫県豊岡市但東町小坂を起点とし、京都府福知山市夜久野町を經由し、兵庫県丹波市を結ぶ一般府道である。			
	事業目的	本事業箇所は、人家が連担しており、道路幅員も狭小であることから、新たなバイパス道路を整備することにより、道路利用者の安全性の向上や自動車の走行性の向上などを図るものである。			
	上位計画等	○ 京都府総合計画 中丹地域振興計画			
	整備内容	○ 現況交通量：584台/日 ○ 整備延長：L=1.1km ○ 計画幅員：W=6.0(7.5)m 2車線 歩道なし ○ 全体事業費：約6.0億円			
事業の進捗状況及び今後の見込み	○ 事業着手：平成26年 ○ 令和5年度末までの進捗率：80% (金額ベース) ○ 令和5年度末までの用地取得率：98% (面積ベース) ----- 用地買収は概ね完了し、工事も全線にわたって進んでいることから、事業進捗における問題は無い。				
事業の必要性	事業を巡る社会経済情勢及び地元情勢等の変化	○ 当該区間は人家が連担し、幅員狭小で歩道が未整備なことから、道路利用者の安全確保が不十分な状況であるため、本事業の必要性は変わっていない。			
事業の有効性	事業の投資効果及びその要因の変化	○ バイパス整備により、現道を通行する歩行者の安心・安全な通行や車両の円滑な通行が可能となるため、本事業の有効性は変わっていない。			
コスト削減等	コスト削減代替案立案等の可能性	○ 盛土材は、他工事の建設発生土を流用し、コスト削減を図る。			
環境	良好な環境形成・保全	○ 工事の実施に当たっては、低騒音・低振動の施工機械を採用する。 ○ 盛土材は、他工事の建設発生土を流用し、コスト削減を図る。			
総合評価	前回評価以降も、本事業の必要性は高いままであり、有効性も確保できることから、引き続き、事業を継続する必要がある。				



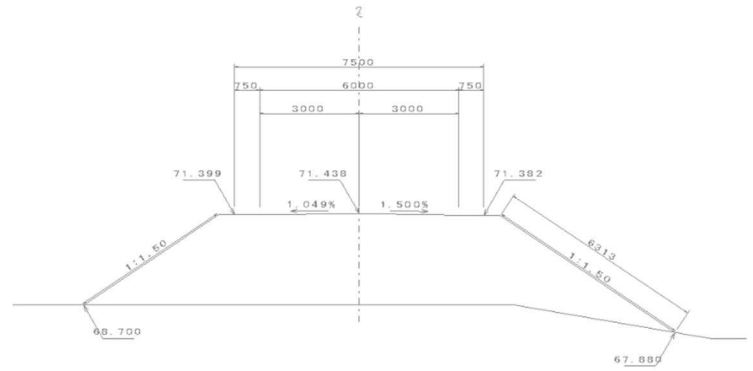
【広域位置図】



【位置図】



【現況横断面図】



【計画横断面図】



写真①



写真②

【現況写真】

『環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

作成年月日	令和6年2月15日
作成部署	建設交通部 道路建設課

事業名	一般府道 小坂青垣線 防災・安全交付金事業	地区名	福知山市夜久野町今西中～井田
概算事業費	約6.0億円	事業期間	平成26年度～
事業概要	本事業箇所は、道路幅員が狭小で、普通車同士の離合が困難となっているため、新たなバイパス道路の整備により、自動車の走行性の向上を図るものである。		
目指すべき環境像	現道は、人家連担地であり、幅員狭小であるため、バイパス道路を整備し、安全で円滑な交通を確保する。周辺は田園が広がっており、周辺環境に配慮した施工を行う。		
関連する公共事業	国道9号夜久野改良事業（国土交通省）		

	評価項目		施工地の環境特性と目標	環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価
	主要な評価の視点	選定要否			
地球環境・自然環境	地球温暖化(CO ₂ 排出量等)	○	<p>現道は、幅員が狭く、車の速度低下によるCO₂の排出量増加の一因になっている。</p> <p>野生生物の生育環境の保全を考慮した工事を実施する必要がある。</p>	<p>事業実施により交通の円滑化が図られることから、CO₂の排出量の削減を期待</p> <p>工事中は濁水などが周辺に流出しないように実施する。</p>	4
	地形・地質				
	物質循環（土砂移動）				
	野生生物・絶滅危惧種				
	生態系	○			
その他					
生活環境	ユニバーサルデザイン		<p>道路に河川が近接するため、河川環境に配慮する必要がある。</p> <p>道路工事における騒音、振動への配慮が必要</p> <p>事業の実施により発生する建設発生土の抑制と資源の再利用に努める必要がある。</p>	<p>河川の付替をできるだけ少なくするなど、道路の法線や構造を工夫する。</p> <p>工事の実施に当たって低騒音・低振動の施工機械を採用</p> <p>建設発生土は近傍地で有効利用し、コンクリート殻等を再資源化施設へ搬出するとともに、再生資源の利用を図る。</p>	3
	水環境・水循環	○			
	大気環境				
	土壌・地盤環境				
	騒音・振動	○			
	廃棄物・リサイクル	○			
	化学物質・粉じん等				
電磁波・電波・日照					
その他					
地域個性・文化環境	景観	○	<p>周辺は、自然豊かな景観を有しており、その保全が必要である。</p> <p>事業箇所には埋蔵文化財が存在するため、適切な調査が必要</p>	<p>法面には緑化を図る等、景観の保全を図る。</p> <p>関係機関とともに事前に十分な調査を実施し、記録・保存を図る。</p>	3
	里山の保全				
	地域の文化資産	○			
	伝統的行祭事				
	地域住民との協働				
その他					

外部評価	
------	--